

スズキ、国際福祉機器展 H.C.R.2014に 都市型電動車いす「UTコンセプト」を出品

スズキ株式会社は、2014年10月1日（水）から3日（金）に東京ビッグサイトで開催される「第41回 国際福祉機器展 H.C.R.2014」（主催：全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会）に、**都市型電動車いす「UTコンセプト」**を参考出品する。

他にも福祉車両ウィズシリーズをはじめ、モーターチェアやセニアカーなどの福祉機器を以下の通り出品する予定である。スズキは、第1回目の国際福祉機器展より出展を継続しており、今後も福祉機器の普及と発展に貢献していく。

【都市型電動車いす「UTコンセプト」】

都市型電動車いす「UTコンセプト」は、「都市生活での移動に便利な電動車いす」をコンセプトとした参考出品車である。障害物や段差を回避する先進予防安全技術を盛り込み、都市部での歩道環境に適したコンパクト性と小回り性を実現した。また、車両の前方足元の構造物をなくすことで前面を開放して視認性を向上させた。バッテリーは着脱式として利便性を向上させている。

操作は操舵レバーで行う方式を採用し、右手元にスマートフォンタイプのパネルを設置。後方をカメラで確認できるようにするなど、周囲の環境に合わせて安心してお使いいただけるように配慮した。

【その他出品車両】

- **福祉車両 「ウィズシリーズ」**
 - スペーシア 車いす移動車（参考出品車） 1台
 - エブリイ 車いす移動車（補助シート付） 1台
 - ワゴンR 昇降シート車 1台
- **モーターチェア**
 - モーターチェア MC3000S 1台
 - MC3000R 1台
- **セニアカー**
 - セニアカー ET4D 1台
 - タウンカート 1台



都市型電動車いす「UTコンセプト」